

ホーチミン市国際金融センター構想 | 成長戦略と課題

2025年2月13日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ホーチミン市国際金融センター構想 | 成長戦略と課題

ホーチミン市をグローバル金融センターとする構想が具体化に向かっている。同市は GDP の 23%を占める経済の中心地であり、国際金融センター設立は国の経済的地位向上、投資誘致、国家開発に不可欠である。計画では、2025年から2030年にかけて法的枠組みの構築、管理機関の設立、運営規則の制定を目指す。特定のメカニズムの発展により、金融機関の発展が促進され、有利な投資環境が生まれることが期待される。

国際金融センターの設立は、企業がベトナム国内で国際金融サービスを利用できる機会を創出する。また、ベトナム企業が国際証券取引所に上場し、グローバル市場へ進出する道も開かれる。海外や地域の企業がセンターに上場することで、金融商品の多様化、流動性向上が期待される。これにより、国内外の企業が国際資本を動員しやすくなる。

ホーチミン市は交通・デジタルインフラの整備、質の高い人材育成にも注力する。これらは、金融センターの運営に必要な要件であり、グローバル金融との連携、人材誘致、都市の発展を促進する。ホーチミン市が国際金融センターとなることは、ベトナム経済の成長に大きく貢献すると期待される。

以上